



鹿乗橋上流右岸:バーベキュー



愛知環状鉄道下流右岸の河原



新東谷橋下流右岸の河原

提案4 「川を楽しむミニ拠点(川の駅)」の設置

【機能】

- 散策、アウトドアなどの時の拠点をつくる。

【整備の方針提案】

- 流域の各要所に、トイレ、水道、木陰、駐車場を提供する「ミニ拠点(川の駅)」を配置する。
- 場所は、「川沿いにずっと歩ける道」「遊べる河原」との関係を見ながら、景色のいいところに設置する。川、河川敷へのアクセス拠点とする。



竹林の小道(志段味ピオトープ)



水分橋下流右岸:駐車場、簡易トイレ



遊べる河原

提案5 下流に「川遊びハウス」を設ける

【コンセプト】

- 上流の「土岐川観察館」のような川の体験の拠点を下流にも設け、下流の川にかかわる活動の拠点とすると同時に、流域の拠点ネットワークの一つに位置付ける。
- 下流は、自然観察などを主体とする拠点ではなく、まず川に親しんでもらうという意味で、川遊びをサポートするような拠点をつくりたい。
- 拠点は、数カ所に設置し、ヨシ原の保全活用、ボート遊びなど、多様な市民活動や市民レクリエーションを育てていきたい。

【施設イメージ】

- 施設は国、もしくは自治体に設置してもらい、運営は(行政の支援を受けながら)市民主体で行うようにしていきたい。

具体的な場所としては、以下の場所が候補地としてあげられる。

- 建設予定の水防拠点(枇杷島、下之一色)に、「川遊びハウス」機能を持たせる(設置主体は国)。下之一色の水防拠点は、ヨシ原の保全を市民参加で進めるための拠点として活用できるとよい。
- 大学ボート部艇庫付近に整備予定の親水護岸は、ボート部などとも連携して水面利用の拠点として広く市民が有効活用できるよう運営を行う。
*ヨシ原の保全を市民参加で進めるための、河口付近の拠点。

【活動イメージ】

- 川遊びのためのボート、パラソル、救命具などをレンタルする。
- 川遊びの指導ボランティアにより、さまざまなプログラムを開発、展開していけるとよい。
- 「ヨシ舟づくり」「ヨシの家づくり」などのイベントをコーディネートしていく。



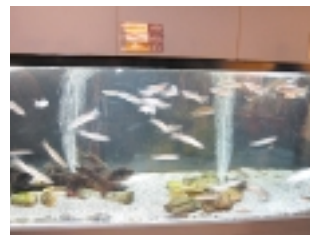
大当郎橋付近にあるボートハウス



16年5月に行われた親子体験ボート



ボートが浮かぶ川の風景



多治見市の活動拠点となっている土岐川観察館

2-4 流域全体で治水安全度を高め、地域の防災力を高めるために

〔治水防災グループからの提案〕

■主要なテーマと取り組み課題

- 地域の特性やリスクに対応した治水・防災対策を進める
下流域は堤防で守られており、洪水時の水位が高いことから内水や氾濫溢水による被害を最小限に抑えるハードとソフトの対策が重視される。上流域や支川域では、雨水貯留など流出抑制が課題になる。上下流域や支川域の地形的特性や相互の関連性、リスクに応じた治水・防災対策を進める。
- 雨水貯留施設の普及など流域全体で流出抑制対策を進める。
- 地域における防災対策を強化する取り組みや仕組みを検討する。